

2委員会立ち上げ

物流施設の課題解消

日本3PL協会（和佐見勝会長）は16日開いた総会で、センター改善委員会（加藤進一郎委員長）とセンター視察委員会（山崎唯委員長）の立ち上げを決めた。これまでの「人材・センター運営委員会」と「効率化委員会」をそれぞれ改め、会員事業者の物流センターに関する課題の解消につなげる。近くメンバーを固め、7月ごろの活動開始を見込む。
（土屋太朗）

7月ごろ活動開始

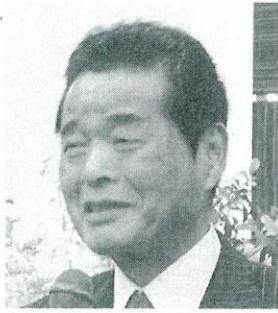
同協会には三つの委員会があるが、EC物流委員会（川村勝宏委員長）は存続する。人材・センター運営委員会と効率化委員会は、設立当初こそ活動に違いがあったが、近年は物流センターの見学が多く、内容が重なっていた。

一方で、センター見学の需要は高い状態が続いてい

ることから、新たにセンター見学を目的とする委員会の設置を決定。加えて、センターの運営や設備に関する課題を洗い出し、解決策を検討する委員会も立ち上げることにした。

また、総会では理事の伊藤昭人副会長（73、シズナイロゴス）が退任し、代わりに山崎氏（53、カンタホールディングス）が就任することを承認。新任理事として川村、藤田浩二の両氏が就くことも決めた。

総会後の懇親会で、和佐



「顧客と共に先を見据え、業界の健全化を目指す必要がある」と和佐見会長

3PL協

見会長は「人手不足がコスト増につながっている中、解決するには適正運賃を収受しないといけない。顧客と共に先を見据え、物流業界の健全化を目指す必要がある」と強調した。

その上で、「人手不足の

解決には海外実習生の受け入れ体制を構築することも大事。物流業界は、ゼネコン業界などと比べ、受け入れに関する規制が厳しい。3PL協会で、この課題についても取り組んでいきたい」との考えを示した。